

回 会 報

179号

新日本美術協会

事務局

千葉県柏市大津ヶ丘

3-17-17-401

森屋治三方

TEL 04-7191-6760

編集委員

石原 修

早田美智子

篠 光定

湯澤朱美

原稿常時募集

次号令和4年11月予定

第四六回新日美展に向かつて

代表 森屋 治三

盛夏の候 会員の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は会運営につきまして格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。いよいよ第四六回展開催日が近づいてきました。本部では開催に向け、実行委員長を中心に万全の準備を行っております。皆様におかれましても、何卒ご準備のほどよろしくお願いたします。

当会では、新型コロナウイルス感染拡大によつて大きな影響を受けました。一昨年の四四回展は中止を余儀なくされ、また昨年の四五回展では「応募者数、作品数、来場者数の減少」という新たな問題が生起致しました。さて、目下の文化活動、スポーツなど取りまく様子をみると、感染者数が減少に転じていることもあり、従来の活動に戻りつつあります。しかし一方では、感染者数がぶり返してきた等々報じられ、収束先

が見えない状況となっております。惑わされる事無く、開催準備を行つていかなければなりません。四五回展で残された課題は、会の浮沈に関わる、差し迫った問題でもあり、委員会では「委員が先頭に立ち全員で取り組む」ことに決定致しました。皆様には、先般お配りした応募要項(予備分)を「知人、友人等にお渡しする」というお願い一点です。

余談ながら、以前、一般応募された方々に対して、応募の動機をたずねたアンケートを行ったことがあり「友人・知人の紹介」の回答が殆どでした。どうか、お一人で構いません。よろしくお願いたします。なお、本部対応の広報として、応募資料の配布を、全国の主な画材店、過去に応募された方々、NETから申込みされた方々へ行い、他に月刊美術誌への広告掲載、ホームページの充実を図りました。特に、応募関係資料、案内

ハガキ等にはQRコードを添付しています。スマートフォンで簡単にホームページを見ることができ、こちらから応募もできます。ご活用ください。

いま一度、美術館という素晴らしい会場での展覧会開催の意義など、考えてみたい。皆さんの作品が、他の多くの作品と共に展示され、大勢の来場者に観てもらえ、評価してもらえ。作品を通して仲間も増え、仲間と共に、切磋琢磨できる、一番の勉強の場となります。試行錯誤、消しては直しの繰り返しの上に完成した、心のこもった作品は鑑賞者の心を動かす、制作の思いを伝えることができます。

このような本展で皆様と感動を分かち合いたいと強く考えます。皆様の「健闘お祈りします」。

三年越しの 選抜小品展を終えて

実行委員長 倉田 遼一

全世界を脅威に落とし込んだコロナの影響は私たちの足元にも及び、予約していた東京交通会館会

場の使用も儘ならぬ事態となり、二年間小品展を開催することができませんでした。ただ毎年開催に向けての下準備はしておりまし。そして遂に今年五月二十九日から二〇二二年度の選抜小品展を開催することができました。

今回の開催にあたってはいろんな問題があつて出品者数、出品作品数が激減することが予測され、各出品者に二作品の出品をお願いすることを最初に決めてスタートし、途中からは絵画のサイズを六号まで出品できるようにして、開催準備をしてまいつた結果、出品者数二三名、出品作品数四三点と、作品数としては目標には届きませんでした。皆様のご協力によつてなんとか満足できる展示ができたかと思えます。来場者も三五〇名を越え、にぎやかな日も時間もありません。

新日美では唯一の販売のできる展示会であり、額装作品二点を含む八点の作品の販売が行われたことを付け加えておきます。いろいろ至らぬところはあつたかと思いますが大きな問題も起こらず終了できたこと、皆様の協力によるものと感謝しております。

二〇二二年度の担当者はまだ決まっていますが本年を超える展示会となることを祈っています。